

平成29年8月23日（水）
都市経営戦略会議資料

次回の国際芸術祭について



スポーツ文化局文化部文化振興課

審議事項

【審議事項】

1. 基本構想改訂版(案)について
 - ・有識者会議(仮称)の設置について
2. 開催概要(案)について
 - ・地域の活性化について
 - ・教育委員会との連携について
 - ・ディレクターの公募について

1. 基本構想改訂版（案）について

基本構想の改訂（案）について

前回の指摘事項を踏まえ、改訂案に以下の修正を加えます。

■有識者会議（仮称）の設置

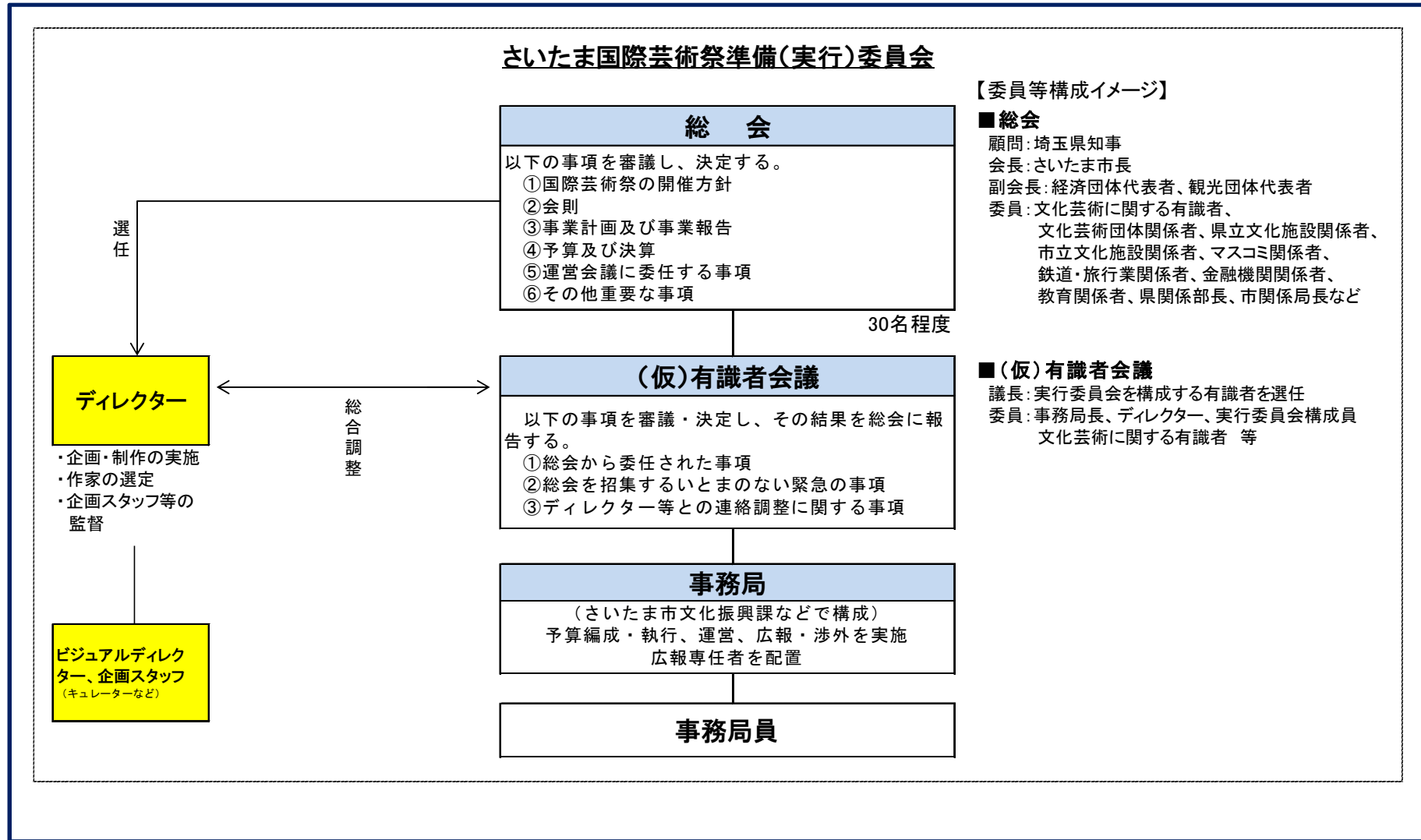
実行委員会委員の一部で構成していた運営会議を廃止し、基本構想及び開催計画等に関する議論や、ディレクターと事務局との調整を図る有識者会議（仮称）を設置し、アーティストだけでなく行政の意見が反映される仕組みを構築する。

有識者会議（仮称）は、事業の実施段階においては、ディレクターと事務局との連絡・調整を図る場とし、事業の円滑な実施に寄与することとする。

※有識者会議（仮称）議長の役割

芸術祭全体の監修、ディレクターのバックアップに加え、新たに設置する有識者会議において議長として、ディレクターと事務局との間の調整や意見の取りまとめを行う。

さいたま国際芸術祭の実施体制



2. 開催概要（案）について

1. 名称 さいたま国際芸術祭
2. 会期 2020年3月中旬～2020年5月中旬
3. 会場 1エリア・2会場
(大宮区役所、大宮図書館、市民会館おおみや、彩の国さいたま芸術劇場、さいたま市文化センター など)
4. 事業規模 5億～6億円程度

開催概要（案）について①

指摘事項 1 地域の活性化について

・盆栽、人形、鉄道、漫画などを活用して展開していくこと

⇒基本構想に記載されている事項であることから、例えば、国際芸術祭において現代アートと盆栽のコラボレーションによる作品の展示など、本市の文化資源の活用を図る取組を開催計画に記述し、実施します。

・アートを通じた産業振興（食のイベント）の取組

⇒経済局において実施している食のイベントと連携するなど、開催計画において記述し、実施します。

・エリアに商店街を入れるとともに、飲食等に結び付く取組

など、まちの活性化に資する仕掛けを構築するべき

⇒商店街に作品を設置することにより人を呼び込むことやチケット提示により飲食店等の割引を適用するなどの取組について開催計画に記述し、実施します。



▲他の芸術祭における商店街の活用

開催概要（案）について②

指摘事項 2 教育委員会との連携について

・学校や子どもが参加しやすい仕組みとするべき

⇒教育委員会と開催計画の策定段階から連携を図り、美術部員などによるアート作品制作への参加をはじめ、小・中・特別支援学校アート展や合同演奏会などの企画を実施します。

▼前回開催時の演奏風景



指摘事項 3 ディレクターの公募について

・ディレクターを公募する際に市の考え方を明確に示しておくこと

⇒市側の考えを示した公募要領を作成したうえでディレクターを公募することとします。ディレクターの決定に当たっては、有識者会議（仮称）において推薦する候補者を決め、最終的に実行委員会で決定します。

【公募要領作成における視点】

- ①市内に居住又は所縁を持つアーティストを積極的に活用すること
- ②地域の活性化に配慮したプロジェクトを企画すること
- ③学校や子どもが参加しやすい企画を組み込むこと